

人間に生まれて

“つながりを生きよう” 296

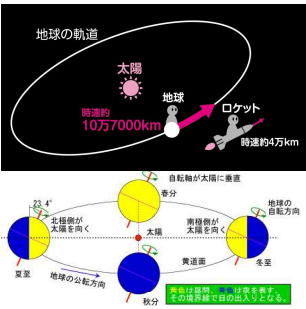
お寺は生きているうちに往くといいです死んでからでは

三月二十一日は春分でした。太陽が真東から六時に昇り真西に六時に沈むと言われています。

又、暑さ寒さも彼岸までと、季節の変わり目もこの時期にあたります。少し調べてみました。

太陽が地球の周りを回るのでなく、地球が太陽の周りを三百六十五日かかって一周しています、それも時速十萬七千キロもの速さで回っています(公転)。

太陽と真向きになると日が春分と秋分時計と反対回りで回って太陽の日が当たりやすい方を夏至、逆に当たりにくい方を冬至になります。今は冬から夏にかけての通過点春分になります。



地球が太陽の周りを回っていることが認められるようになったのは今から五八〇年前からだそうです。当時の思考が一八〇度変わったのではなかったかと想像します、その地球も直径約四万メートルを二十四時間で回りますので時速約一千七百キロもの速さで回っています(自転)。

なぜ飛ばされないか?慣性の法則があり乗り物に乗ってミカンなどを上に投げても又手のひらに戻ってくる事からみんな動いているから気づかないだけだと思います。何もかも移り変わっているのに中々そうは感じないのですね。

今日もまた日が昇ってきます
一日一日大切に生きましょう。
南無阿弥陀仏 南無阿弥陀仏

4月 真敬寺行事予定

- 1から4日 本山春の法要中継午前10時
- 3日(日) ハス鉢植え替え午後3時
- 4日(月) 正信偈の会 午後2時
- 10日(日) 日曜学校 午前9時
- 真宗入門講座 午後2時
- R3.3月分 [9. 信心]
- 17日(木) 定例聞法会 午前午後
- 法話 国分大慶さん
- 24日(日) 日曜学校 午前9時

遅い。
お経は生きているうちに聞く教えです死んでからでは遅い。お釈迦さまは死んでしまった人のためには一言も教えを説いていない。生きているうちに
お寺へ行きましょう。

定例聞法会の聞書

大島一声さん



コロナで、ま、たすかっても、私の自業の「死」からは、誰も逃れることは出来ません。

今日は「死」ということについてお話ししたいと思っております。

今日は亡くなった方の追善と言うことでお世話下さった役員の方にはありがとうございます。

私は亡くなった方の御恩報謝は出来ません。なので今日は亡くなった方の御恩を偲んでの法要であります。

でもですね、亡くなった方のすくいではないのです。お経によって誰もたすからないのです。私は命をかけて申しあげます。何万巻のお経を上げて人も人はすくわれないのです。

お釈迦さまの有名なお言葉の中に、阿難のというお弟子がいらっしゃいました。お釈迦さまのいことです。いつもご一緒でありました。或る時阿難は

「あなたが亡くなられた時に、亡くなった方に向かってお経を上げたらたすかりますか？」と聞いたときに、お釈迦さまは黙って、石をとって池に投げられました。

「阿難よ、あの石を浮いてこい浮いてこいと一万年お経を上げても石は浮いては来ない、私は死んだ後のために法を説いたのではない、生まれがたい人間に生まれて、会いがたい仏法の機の上において、「いのち」のあるうちに魂の解決をすることが仏法の題名目である」と仏教の有名な言葉を語られました。

この法要は追善と言うことよりも御恩報謝なんです。御恩報謝の行為を追悼法要というのです。

お経を上げて亡き人をすくうということと全く関係の無いことなんです。

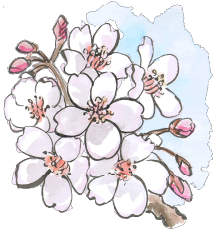
なくなった人は「いのち」のあるうちに長い長い旅をして、「いのち」終わり次第解決して阿弥陀の浄土に誕生することが仏教であ

ります。

死んでからではありません。
私がここでこのように申しあげ
たくて三日間眠れませんでした。
た。

今日のこうやってお世話下さ
った方々も、お世話しただけで
終わってなならんとおもいま
す。

人身受けがたしです、人間に
まれることはまことに希なので
す。その人間に生まれてたとえ
百まで生きていても「いのち」
の解決が出来ていなければ、良
かったなと言える人生でありま
しょうか。私の妹は最後に念仏
を聞いていきました、私の娘は
最後に念仏の言葉
を残していきまし
た。



災難続きはまだまだありまし
た、弟、妻とありました、だけ
れども今想えば、幸せなんです。
災難に遭わなければ仏には会
えませんでした。

悲しみに遇ったことを不幸だ
とは思いません、悲しみだけが、
人間をすくうのです。私は人生
の悲しみに感謝しています。人
生は悲しみが頂き物なのです。

長生きを問うているのではな
いのです、再び生まれることの
出来ないところに生まれて（人
身受けが足し）、浄土への往生
の道を聞かなければ（今すでに
聞く）ならない今を生きていま
す。今日解決しなかったらとは
思いませんか？長生きしたつ
て、死ぬのです。

私は今日ここに来ていますが

再びここに来ることが出来ない
と思っと思っています、終わりかもし
れません。なんと言われましょ
うが、私はお経で人はすくわれ
ないことを断言しておきます。

親鸞聖人は四歳でお父さんが
亡くなり八歳でお母さんが亡く
なり悲しみの中で九歳で慈鎮和
尚のもとで得度なさいました。

人生をかけて、「いのち」の
解決を歩まれて、法然上人から
「南無阿弥陀仏」の念仏の教え
をいただかれたのです。

悲しみや災難に遭った者はそ
れを抱きしめて幸せになり、怠
けていいことに会うことは幸せ
ではないのです。人生あるがま
までいいのです。

お勤めのお経は御恩報謝なの
です、死んだ後のことは問わな

いのです。だからこうしてお話をして「南無阿弥陀仏」と伝えているのです。

生きていることが尊いことよりも、念仏を申すことが尊いと思っております。

親鸞聖人は「南無阿弥陀仏」に会えたことのありがたさを喜んでおられました。生きていけると言うことは念仏を申さしてもらえろと言うこと、聞かせてもらえろと言うこと。

この世界は「そらごとたわごとまことあることない」「火宅無常」地震、戦争、感染、の世界では死ぬだけです、けど念仏しかないのです。

生まれてきたわけもわからず、生きてきたわけもわからず、死んでいくさきもわからず、何も持つてはいけない、誰も付いては来ない、がこのままでは死ねれん最後の「いのち」だと自覚してたすかって下さい念仏申して下さい。

如来ましますなり、心配いらない。

先月の行事から

三月 八日

二月十七日

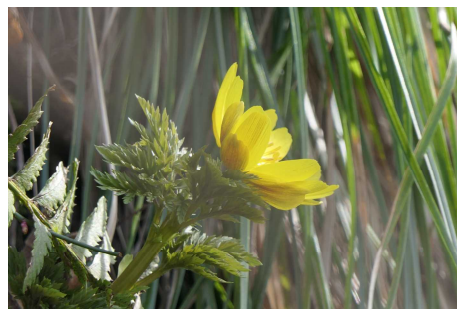
正信偈の会

古文書

誦音会

定例聞法会

広瀬老人会追悼会



三月の晴れの日ご門徒の中島正雄さんに誘っていただき福寿草を見てきました。自生地までは中々険しいところを登らなければ行けません沢山の福寿草が雪解けの中から力強く芽吹いていました。帰り道に菊咲一華が見送ってくれました。

発行 〒939-1664富山県南砺市竹内440



ホームページを開設しました

真宗大谷派(東) 小塚山真敬寺 宮地修

0763-52-0196 携帯電話090-3760-5692